

一般質問通告書

令和 6年 1月 25日

議会議長様

議席番号 1 番

議員氏名 太田康之

質問事項	質問要旨	指定答弁者
1. 学校給食で使用する野菜は 杉戸町産を	<p>学校給食で使用される野菜については、入札により調達しています。</p> <p>町内農家が学校給食に野菜を出荷する場合は、有限会社アグリパークゆめすぎとの直売部を経由しています。そこから、市場仕入れ野菜との入札での価格競争となります。</p> <p>しかし、杉戸町の農業及び子どもたちのために、杉戸町産の野菜を優先して学校給食に使用すべきと考えます。</p> <p>国や県においては、食育推進基本計画に「学校給食における地場農産物の割合（金額ベース）を向上させること」、「地場産物利用促進の為に関連各所と連携や協働すること」を明記しています。</p> <p>一方、他の市町村においては、「地場産物利用目標」を設定し、その割合を増やす取組を進めています。</p> <p>宮代町では、年間で学校給食に使う地場野菜の目標値（重量）を決め、管理しています。新規就農者等に給食用野菜を出荷するよう積極的に働きかけるとともに、SNSで例えば「本日の給食の大根、人参は宮代町産です」とPRもしています。</p> <p>また、一般的に学校給食の買取価格は市場出荷価格より高くなることから、生産農家を応援できるものと考えます。</p> <p>これらを踏まえ、以下伺います。</p>	<p>町長 副町長 教育長 教育総務課長 産業振興課長 担当課長</p>

1月 25日 午前・午後 8時30分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
2. 保育園の決定通知の早期発送を	<p>(1) 杉戸町の農業及び子どもたちのためには、杉戸町産の野菜を優先して学校給食に使用すべきと考えるが、町長の見解は。</p> <p>(2) 当町では、地場産物使用目標を設定していない。その理由は。また、今後設定する考えはあるのか。</p> <p>(3) 学校給食用の地場産野菜の使用量を増加させるためには、どのような対応が必要と考えているか。</p> <p>杉戸町では、子育て世帯を呼び込むために一世帯20万～30万円の奨励金を交付しています。出産予定の方も対象となっています。</p> <p>このような政策を行う中、特に、保育園の受け入れ体制はどうなっているのでしょうか。</p> <p>現在、保育園では、12月初旬に申し込み、その後、2月中旬に決定通知が発送され、4月1日に入園となります。</p> <p>多くの自治体が2月頃の通知であるのは承知していますが、中には12月、1月に決定通知を出している自治体もあります。</p> <p>そこで、親の不安を少しでも和らげるため、もう少し早い時期に保育園の決定通知を発送すべきと考えますが、町の見解は。</p>	<p>町長 副町長 子育て支援課長 担当課長</p>

質問事項	質問要旨	指定答弁者
3. PTAの入会はどうなっているのか	<p>小学校、中学校のPTAは、学校、家庭、地域の連携に重要な役割を果たしております。PTAとして活動されている皆様には、心から敬意を表します。</p> <p>しかしながら、核家族化や共働き世帯、ひとり親世帯など世帯構成の多様化に伴い、時代にそぐわないものとなり、全国でPTA解散や入退会自由などの変化が起きております。</p> <p>国会では内閣総理大臣がPTAは任意参加であると明言し、埼玉県教育委員会は、「PTA活動を円滑に推進するための留意事項として入会は任意であり、役員の強要は違法とみなされる可能性がある」などの先進的な通知を出しています。</p> <p>これらを踏まえ、以下伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 各小学校、中学校のPTA加入率の推移は。 (2) PTAの入会は正しく行われているか。 (3) PTA活動はどのような状況となっているのか。 活動に支障を来してはいないか。 	町長 副町長 教育長 学校教育課長 担当課長